

地域教員養成プログラムの実施

令和8年度より、地域教員養成プログラムを実施します。本プログラムは「教育データサイエンス／ICT／DX 活用による地域教育の転換と地域教員マインドの醸成」を目的として、Society5.0 時代に活躍する教師の養成をめざす本学の取組みの一つです。

1. 地域教員の養成とは

地域がかかえる教育課題を正しく理解し、地域の文化的・歴史的財産に愛着をもちながら、確かな教育力を軸として教育データサイエンス／ICT／DX を教育現場に生かし、様々な地域の教育課題を主体的に克服していこうとする意欲ある教師を育てます。特に、「**滋賀県で教師になる**」という強い意欲をもった者を対象とします。

2. 対象・受講方法

学校推薦型選抜（地域枠）での入学者は基本的に受講対象となります。その他の選抜で入学した学生も希望者は受講することができます。

1回生春学期の観察実習オリエンテーション時に本プログラムの説明を行います。別途指定された申請方法に基づき、申請いただきます。なお、申請時期は1回生秋学期履修登録期間中とします。

3. プログラムの内容

本プログラムは、以下の3つの要素より構成されます。

I. プログラム必修科目の受講（3科目6単位取得）

授業科目	単 位	曜 限	学年 配当別	備 考
環境教育概論	2	秋・木1 一部春集中	1	全学共通教養科目 ※卒業要件上必修
地域からの視点	2	秋・集中	1	全学共通教養科目
学校教育におけるデータサイエンスの基礎	2	秋・木2	2	初等教育共通科目

II. 関連プログラムの受講

- ・「教育データサイエンティスト」養成プログラムの科目より 4科目8単位以上取得
- ・「ダイバーシティ教育専門科目群」履修プログラムの科目より 3科目5単位以上取得

※各プログラムの詳細は別途各プログラムのページを参照すること

※各プログラムについて修了することが望ましい

III. 「みらいの先生育成プロジェクト」の受講

- * 「みらいの先生育成プロジェクト」は、体験をもとに地域を理解し、地域への愛着を深めるとともに、学生や教師とのコミュニティ作りを推進し、滋賀県の教員を目指す気持ちを高めることを目的とする活動を総称するものです

<1回生～>

- ・『教育体験活動』への参加

○1回生秋学期から4回生春学期までの間に自主参加体験を行い、「教育体験科目Ⅱ」及び「教育体験科目Ⅲ」の 2科目2単位を取得する

※自主参加体験については、滋賀県内の学校園等で教育体験活動を行うこととし、地域の特徴的な教育活動も体験することが望ましい

< 2回生～3回生 >

- ・『滋賀の教師塾（滋賀県教育委員会主催）』への参加（※参加推奨とし、プログラム修了要件には含まない）
- ・『教師のたまご（受かる力UP）』への参加（※参加推奨とし、プログラム修了要件には含まない）

< 4回生 >

- ・『教師のたまご（遊び心と即戦力UP）』への参加（※参加推奨とし、プログラム修了要件には含まない）
- ・『教員0年次研修』への参加（教職大学院の現職教員との交流等）（※参加推奨とし、プログラム修了要件には含まない）

4. その他

本プログラム受講者は、滋賀県内で教員採用試験を受けることを前提とします。

本プログラム受講者は、3回生で行う基本実習は地域の協力校（北部または南部）で行うことを基本とします。

ただし、本人の所属する専修専攻や希望等により、附属学校園で行う場合もあります。